

# 第3章

# 道路総合管理計画の基本方針

調布市の道路管理の現状と課題を踏まえ、道路総合管理計画の基本方針を「道路空間の安全・安心の確保」、「持続可能なインフラメンテナンス」、「自然・社会環境の向上」とします。

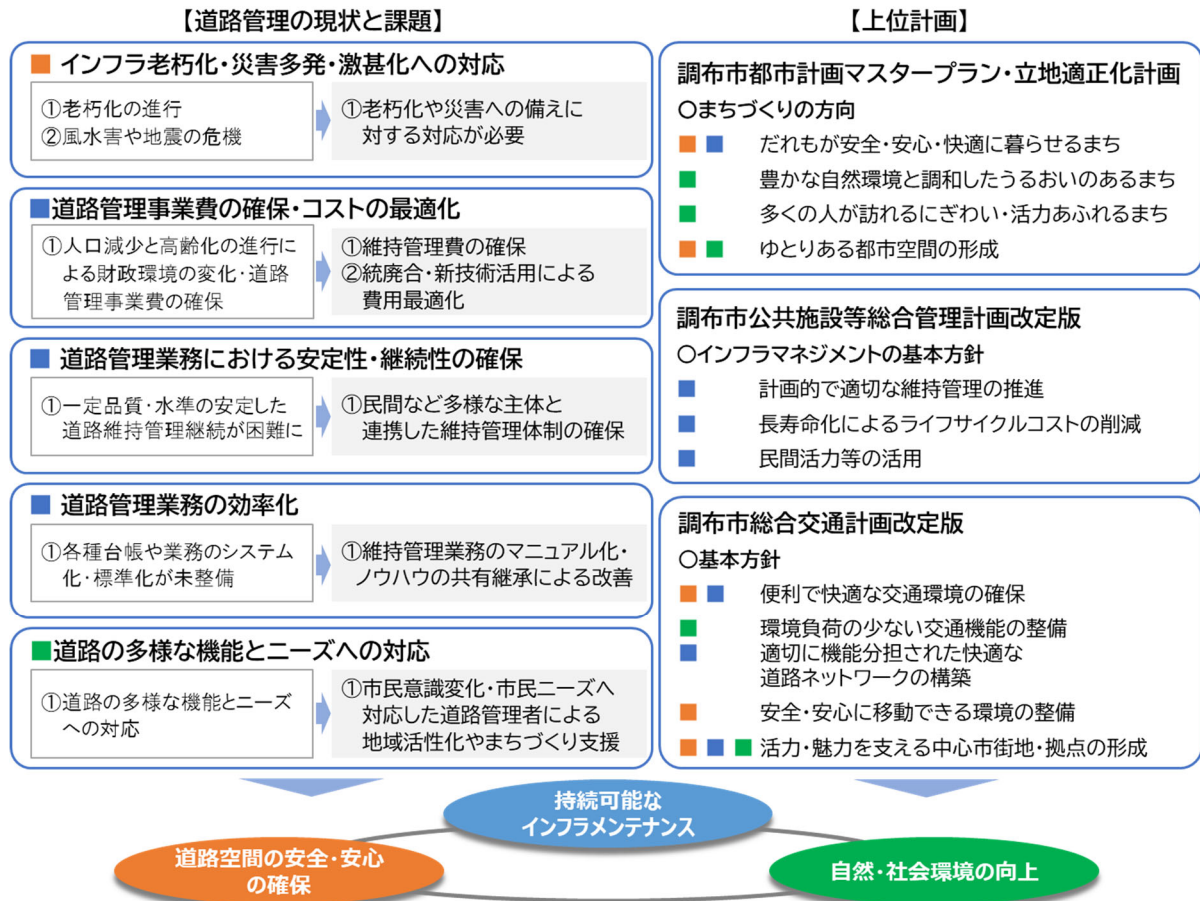


図 3-1 道路総合管理計画の基本方針の導出

## ■道路総合管理計画の基本方針

### 道路空間の安全・安心の確保

市が管理するインフラの老朽化や、風水害などの自然災害の激甚化・頻発化が懸念されています。

その対策として、道路土工構造物の予防保全型管理への転換、緊急輸送道路における無電柱化の更なる推進、道路の治水対策など、ハード・ソフト一体となった防災・減災を進めて、市民が安心して生活を送ることができる道路空間の安全・安心を確保します。

### 持続可能なインフラメンテナンス

人口減少と少子高齢化への懸念、インフラの老朽化がもたらす維持管理費の増加など、道路事業費の増額確保が難しい財政環境が見込まれます。そのような状況において、市民の日常的な道路利用に支障が生じないように、安定的な道路維持管理の継続が求められています。

道路施設の適切な管理区分や優先度の設定などにより、維持管理費用の最適化を進めるとともに、情報技術・新技術等の利活用や多様な主体との連携などによる維持管理の効率化・高度化を図り、持続可能なインフラメンテナンスを実現します。

### 自然・社会環境の向上

道路の活用による賑わい空間の創出、インフラ分野の脱炭素化など、道路に対するニーズが多様化しています。この状況を踏まえ、歩行者利便増進道路制度の活用、道路インフラのライフサイクル全体での脱炭素化など、道路空間・機能を多面的に活用することにより、環境の向上を図ります。

図 3-2 道路管理の基本方針